

令和6年度

# 文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県春日井市

自治体名：愛知県春日井市

担当課名：学校教育課

電話番号：0568-85-6441

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	92.78 km <sup>2</sup>
人口	305,531 人 (R.2.1現在)
公立中学校数	16 校
公立中学校生徒数	8,303 人
部活動数	56 部活 (文化部活動)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	策定済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化に伴い、部活動に参加する生徒数が減少しており、各校での部活動の種目を存続するのは非常に困難となっている。生徒数の減少にあわせ、教員数も減少しているが、保護者の希望などにより部活動数を減らすことも難しいのが現状である。そのため、部活動の顧問の確保も大きな課題となっている。地域によっては、部員数がそろわないため、合唱部などは十分な練習ができないところもある。

そのため本市では令和5年10月より、休日の活動においてすべての部活動を地域クラブ活動に移行した。運動系の活動も含め、令和5年

度は3,605人が参加している。令和5年度において、指導者は文化活動では23活動73名の指導者が参加しているため、コーディネーターの調整が必要不可欠となってくる。令和6年度は、学校枠を越えた活動や新しい種目も増やしていく。また、将来的な受益者負担をふまえて適正な人数となるよう統合も進め、地域に根差した受け皿の確保をめざしていく。

本市周辺との地域移行開のアプローチの違いもあり、コンクール参加、発表会参加の整備について時間を有することが考えられる。実証事業への取組が、以上の点の解決に近づくものと考えている。

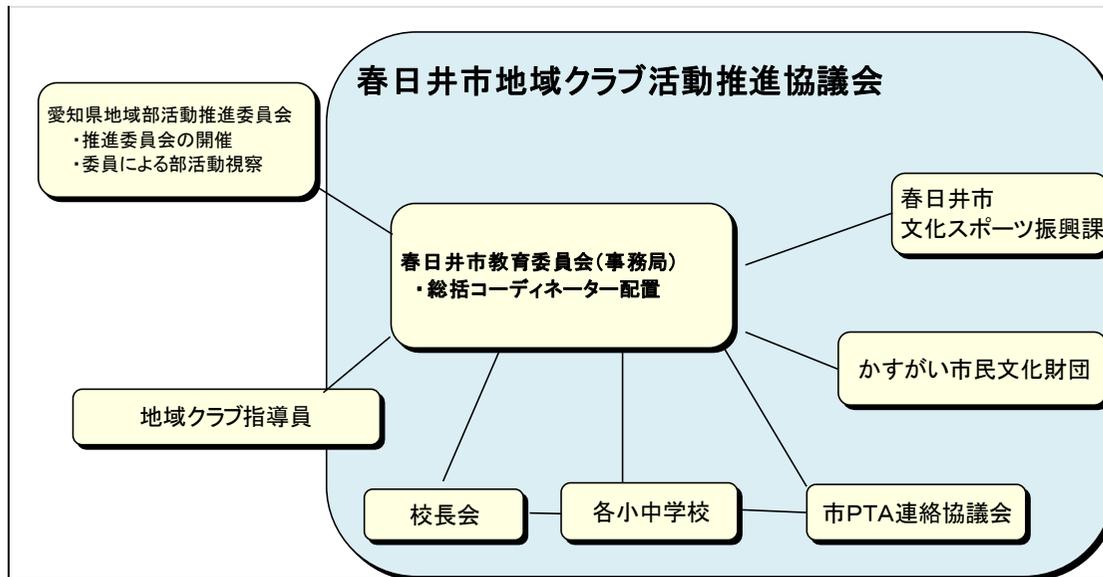
### 本市の部活動の現状①



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会・総括コーディネーター

- ・事務局
- ・地域クラブ指導員・学校との連絡調整

##### ◎首長部局（文化生涯学習課・かすがい市民文化財団）

- ・各施設の利用、指導員の派遣
- ・部活動の地域移行への検討、生徒の居場所づくりの検討

### 年間の事業スケジュール

- 令和6年 4月 総括コーディネーター配置  
令和6年度地域クラブ活動開始
- 5月 新1年生地域クラブ活動参加意向アンケート  
関係団体ヒアリング
- 6月 第1回地域クラブ活動指導員研修会  
第1回地域クラブ活動推進協議会
- 7月 関係団体ヒアリング
- 8月 総括コーディネーター各校視察①  
指導者・参加者の適正化を図るため地域クラブ活動の統合の検討
- 9月 総括コーディネーター各校視察②
- 10月 関係団体ヒアリング
- 11月 指導者へのアンケート調査
- 12月 総括コーディネーター各校視察③
- 令和7年 1月 拠点校・保護者等へのアンケート調査実施（意識調査）  
第2回地域クラブ活動推進協議会
- 2月 令和7年度地域クラブ活動参加意向調査（教員・部活動指導員等）  
地域クラブ活動意識調査（生徒・保護者）
- 3月 第2回地域クラブ活動指導員研修会  
事業完了報告書・成果報告書等の作成  
令和7年度地域クラブ活動参加意向調査（生徒）

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	15校	実施した地域クラブ総数	21クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		21クラブ（22部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	74人	全体の運営スタッフ数	0人

#### ②各クラブに関すること

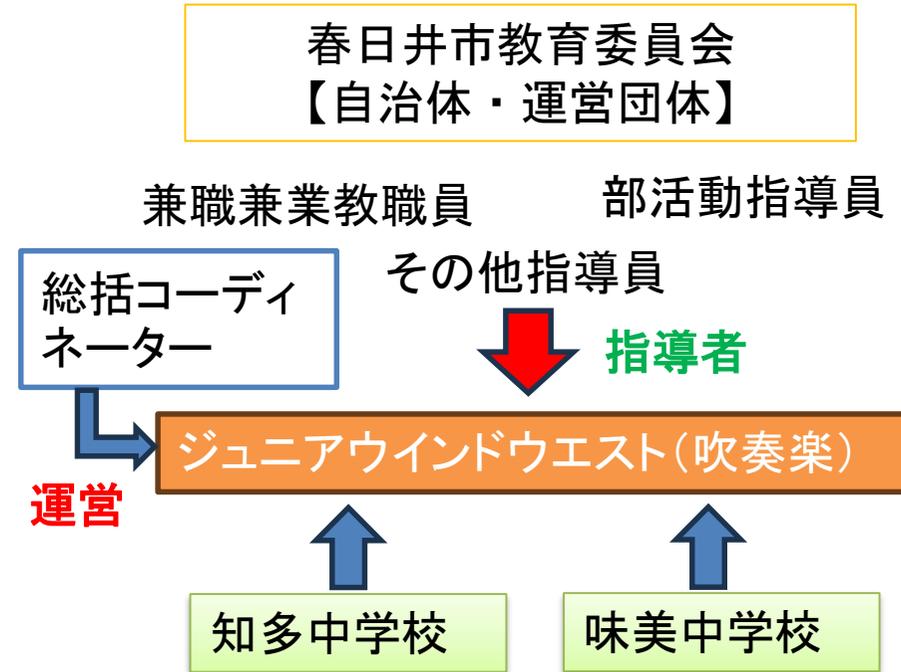
クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
藤山台中学校 吹奏楽クラブ	行政部局直轄運営	吹奏楽	月4回/ 週1回	主に午前	1年：5人 2年：12人 3年：15人	令和6年 4月より 1年間	藤山台中 中学校音楽 室、教室	3人	0人	なし	平日：部活動 休日：地域ク ラブ活動 吹奏楽コンク ール：部活動
ジュニア ウィンド ウェストクラブ	行政部局直轄運営	吹奏楽	月4回/ 週1回	主に午前	1年：25人 2年：19人 3年：7人	令和6年 4月より 1年間	主に知多 中学校音 楽室、教 室	10人	0人	なし	平日：部活動 休日：地域ク ラブ活動 吹奏楽コンク ール：部活動
藤山台中学校 吹奏楽クラブ	行政部局直轄運営	演劇	月4回/ 週1回	主に午前	1年：7人 2年：3人 3年：1人	令和6年 4月より 1年間	藤山台中 中学校第2 理科室等	1人	0人	なし	平日：部活動 休日：地域ク ラブ活動

## 主な取組例

### ●ジュニアウインドウエストクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	春日井市教育委員会
期間と日数	吹奏楽：令和6年4月1日～令和7年3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	兼職兼業教職員、部活動指導員
活動場所	春日井市立知多中学校音楽室など
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 （市費にて負担） 指導者は会計年度任用職員として任用

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 総括コーディネーター  
役割：練習計画、指導員の配置、連絡調整、楽器運搬の手配など運営を行う。
- 指導者 10名  
役割：練習指導、欠席連絡、指揮、発表会引率などを交代で行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・総括コーディネーターが（運動・文化）新年度の地域移行における指導員の配置、確保の調整を行った。
- ・参加が適正人数となるよう、統合や地域バンド活動を進めるための整備を行った。
- ・学校枠を越えて参加することが可能となり、活動場所を拠点の学校として活動を行った。

##### 取組の成果

- ・地域クラブ指導員が文化系だけで令和6年11月現在74名となっている。指導者は随時活動状況に応じて増減している。クラブの運営状態を把握し、総括コーディネーターが適切に配置をしている。多くのクラブの活動を把握し、合同などを計画的に進めるためにも、総括コーディネーターの働きは欠かせない。
- ・生徒の参加人数の減少や指揮者が可能な指導員の不足により令和6年4月より2校合同のジュニアウインドウエストを設立した。吹奏楽の合同では、楽器の運搬の調整、保護者への説明、練習計画など練習以外の仕事が多岐にわたるため、総括コーディネーターが運営を行い、活動の基盤を築くことができた。
- ・令和6年度より自校に希望の活動がない生徒は、学校枠を越えて参加することが可能となり、参加の調整を運営団体（教育委員会）が行い、スムーズに取り組むことができた。

#### ●ジュニアウインドウエスト参加者の声

- Q楽しく参加できたか？ 任意 回答数48人
- |                |      |
|----------------|------|
| とても楽しく参加できた    | …20人 |
| 楽しく参加できた       | …14人 |
| あまり楽しく参加できなかった | …11人 |
| 楽しくなかった        | …1人  |
| どちらともいえない      | …2人  |

楽しく参加できなかった・どちらともいえない理由  
ほとんどの練習で楽器を毎回持っていきのがとても面倒くさかったから。

一緒に活動を行っている中学校との連携の時間が休日だけでは足りない。

##### 総括コーディネーターの具体的な動きの実績

総括コーディネーター（運動・文化）としてOB校長2名を配置。文化活動に秀でた人物であるため、市内の吹奏楽や合唱、演劇との調整が非常にスムーズであった。また、各校の実情を把握した指導員の配置が可能となった。ジュニアウインドウエストの運営に関しても、事前に予想される課題を洗い出し、連絡調整を行うことができた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・今後兼職兼業の教職員が減っていくことが予想されるため、学校施設を活用した活動場所の調整などが困難になってくる⇒合同での活動の推進とともに、アプリなどを活用した活動場所の管理方法を整備したい。
- ・総括コーディネーターの運営ではなく、持続可能な運営方法を確立する必要がある⇒指導者への運営方法の研修や、令和10年度以降の運営主体の確立を図りたい。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

#### 取組事項

- ・地域クラブ指導員の質の向上を図るために、研修を年2回行った。
- ・新規採用者などは総括コーディネーターもしくは担当者が面談を必ず行った。
- ・愛知県の人材バンクを活用した。

#### 令和6年度指導員数

赤数字 令和5年度より減

青数字 令和5年度より増

令和6年9月現在

指導員	運動教職員	229 (-25)	文化教員	36 (-2)	教職員合計	265 (-27)
	運動指導員	123 (+33)	文化指導員	37 (+1)	指導員合計	160 (+34)
	運動合計	352 (+8)	文化合計	74 (-1)	総合計	425 (+7)

#### 【傾向】

兼職兼業の教員は異動などによりやめることが多い。令和6年度は大学生の指導員新規希望者が多かった。総括コーディネーターが新規の人材の配置を行った。

#### 取組の成果

指導員の希望者に対して、必ず面談を行うことにより、人物の把握だけではなく、本市がめざす「地域クラブ活動」を理解してもらってから任用を行うことができた。また、配置校や種目、勤務条件を十分に確認することで、適切なマッチングを行うことができ、スムーズに指導員が活動に参加できた。新規希望の指導員や事情により指導員を退職するケースは随時あるため、400名を超える指導員を適切に配置していく上で、総括コーディネーターの役割は非常に大きく欠かすことができない。また、人材が不足している種目もあるため、愛知県が作成した人材バンクシステムを活用することで、広く人材を探すことができた。

部活動地域移行 教職員面談シート

面談日：令和 年 月 日 学校 教職員名：

◎説明事項	
1 本市が設立・育成する地域クラブ活動の姿 ・参加者の自主的・自発的な参加により行われる活動であって、スポーツや文化、科学等に親しむ活動である。 ・競技力の向上は副産物であって、運営・指導者は必ずしもその競技・種目に精通していなくてもよい。 ・指導にあたっては、令和の教育と同様、参加者自らに考えさせるコーチングの姿勢が望ましい。 ・平日と休日の活動の連携については、必ずしも必要としない。 ・活動は必ず複数人で指導にあたるよう人材を配置する。 ・活動の頻度は必ずしも毎週でなくてもよい。また、毎回同じ指導者で活動する必要はなく、交替で活動に参加することも可能。 ・活動に伴う事故等の問題について、指導者が一時的に窓口となることは考えられるが、最終的には市教委が責任をもって対応する。	□ 説明済み
2 合同活動についての理解（従来の部活動とは違う活動である） 現在単独校での活動であっても、今後は合同活動に移行する可能性が十分にあるという認識を持ってもらう。（従来の学校部活動とは違う活動に携わるという認識）	□ 説明済み
3 平日の時間外労働について	

#### 【指導員用面談シート】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

##### 第1回

○指導に活かすアンガーマネジメント研修

講師 特定非営利活動法人 はぐみサポート ゆめたまご

代表 稲垣 真紀子 氏

○令和6年度の地域クラブ活動について

・大会参加について ・合同クラブの進め方について

・運営方法について ・近年の状況

○ハラスメント及び安全管理について

##### 第2回

○令和7年度の地域クラブ活動について

○ハラスメント及び安全管理について

##### 指導者研修の参加実績

##### 第1回

・開催日：令和6年6月25日・27日（両日のどちらかに参加）

・参加人数：計171人 ※欠席者には資料などにより説明

##### 第2回

・開催日：令和7年3月11日・13日（両日のどちらかに参加）

・参加人数：256人(参加予定)

##### 受講者の声

・衝動のコントロールをするためのタイムアウト（6秒）について、「ただ我慢するのではなく、理性が働くまで待つ」ということを再確認できた。改善するために次からどうすればよいかを言語化することが有効というのは腑に落ちた。具体的なスモールステップを示すなど、今後の指導に生かしたい。

・〇〇すべきは本人にとって正解という言葉が印象に残っています。多様性も認めながら、生徒の能力を育てられるように尽力します。

・地域クラブとしてのゴールを鑑みると、早い段階で保護者の介入が必要不可欠だと思いますが、文化系クラブはまだまだ学校部活が主体となっているように感じます。

・学校がもっと実情にあわせ臨機応変に対応してもらえればありがたいと思います。外部指導の者として現在の状況では気持ちが薄れる方が増えるのではと危惧します。

##### 今後の課題と対応方針

指導員への研修は、本市では部活動指導員に向けた研修を長年行ってきたこともあり、指導員自身研修の大切さは認識している。ただ、研修内容の選定や最新の情報を提供するための準備に時間がかかる。また、全員が参加できる日程調整が困難であり、今後、指導員の研修について大学と提携して行ったり、動画を配信したりすることを考える必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
**エ：面的・広域的な取組**

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

●取組項目名 **ウ：関係団体・分野との連携強化** / **エ：面的・広域的な取組** / **オ：内容の充実**

### 取組事項 (ウ)

- ・拠点校の設置を設置し、運営できるよう関係団体と連絡調整を図る。
- ・各種関係団体とコンクール参加などに向けて調整を図る。  
 ⇒令和6年度運営はコーディネーターが行い、コンクールは部活動で参加したため特に実績なし。

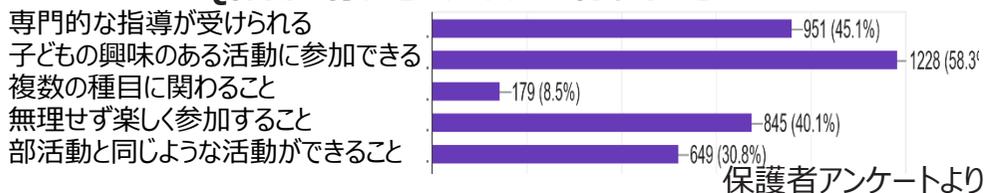
### 取組事項 (エ)

- ・学校枠を越えて部活動にない種目も近隣校で活動した。
- ・吹奏楽・演劇部の近隣校で合同による地域クラブ活動を行った。

### 取組の成果 (エ)

- ・演劇の合同練習では、演劇に携わる専門講師による指導を受けることができ、大変好評だった。
- ・学校枠を越えて参加（演劇3 ギター2 合唱1）した生徒は興味のある活動ができ、十分満足することができた。保護者の期待もアンケートから大きいことがわかった。

### Q休日に行う地域クラブ期待することは？



### 今後の課題と対応方針

文化系の地域クラブ活動では、部活動にある既存の種目ばかりとなっているため、レクリエーション的な活動がほとんどない。また、美術や囲碁・将棋など指導員が確保できないため、地域クラブ活動がない。生徒アンケートをもとに子どもの多様なニーズに応じた種目を今後増やしていく。また、部活動

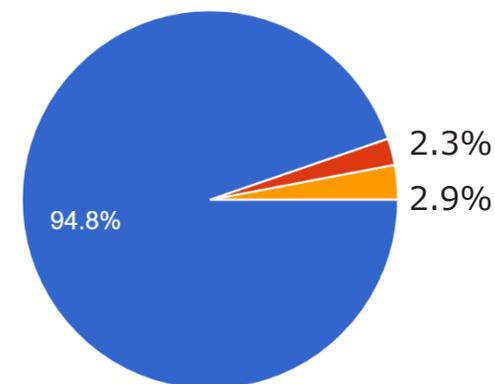
### 取組事項 (オ)

部活動と異なる種目に参加が可能としていた。

### 取組の成果 (オ)

多くの生徒が、部活動と同じ種目の地域クラブ活動に参加しているが、部活動と違う種目に参加したり（2.3%）、部活動に参加していない生徒が地域クラブ活動に参加（2.9%）できたのは、生徒の選択の幅が広がり、生徒のニーズに応じた活動を少なからず準備できたためである。地域クラブ活動を行うことで、休日のみ活動するなど活動のスタイルを広げることができたといえる。

### Q平日の部活動に参加しているか？



- 地域クラブ活動と同じ種目に参加している
- 地域クラブ活動と違う種目に参加している
- 部活動には参加していない

と異なる種目に参加したくても、大会参加を考慮したり自校にない活動に参加したりするには移動が困難であるから参加できない生徒もいる。大会の整備及び移動にかかる負担軽減を図るために、関係機関との連携・協力や首長部局との調整を行い、まちづくりとつなげていきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等 / キ：学校施設の活用等

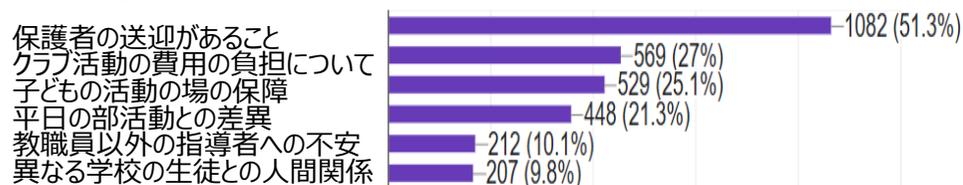
##### 取組事項（カ）

・施設利用費（ほとんどが学校）、指導員費用、保険料など移行期間の令和10年度までは市が予算を計上し負担していく予定である。そのため、令和6年度は保護者の費用負担がほとんどなく、活動に参加できた。

##### 取組の成果（カ）

保護者アンケートの地域クラブ活動への心配事では、「クラブ活動の費用負担について」が全体の27%を占めている。現在本市では、費用負担について市費で指導員の費用などを支払っているため部活動との差異がなく、大きな混乱を生じることなく地域クラブ活動をすすめることができた。

#### Q休日に行う地域クラブで心配なことはありますか？



保護者アンケートより

##### 今後の課題と対応方針

参加の費用負担に関しては、将来的には受益者負担を計画している。適正な参加費の検討とともに、就学支援による補助も考えられる。ただし、就学支援による支給の制度も複雑であるため、大きな負担にならないような

##### 取組事項（キ）

・学校施設を利用するために、兼職兼業による自校の教職員以外の指導員へ、施設用の鍵（音楽室や各教室、渡り廊下など活動する場所）を準備した。

##### 取組の成果（キ）

指導者用の鍵を用意し、マニュアルで開錠方法を周知したことにより施設利用について大きな混乱がなかった。学校も指導員への開錠方法の伝達に協力してくれたためスムーズに行うことができた。

②-4-2 施設の開錠

**門の開錠**  
門が施錠されている時には、渡されたカギで門を開ける。校内に入った後、門は閉める。  
※カギを施錠するかの有無については学校ごとに違うので、学校用マニュアルをご確認ください。

**職員玄関の開錠**  
職員玄関が施錠されている時には、所有の職員玄関キーで開錠する。そして、職員玄関を施錠する。（校内に入る際には、必ず内側から施錠をすること）  
※セコムのセキュリティ解除に関しては、学校用マニュアルを確認してください。

**保健室（緊急対応用部屋）の開錠**  
職員玄関の所定の場所にある保健室（緊急対応用の部屋）の鍵を使って開錠する。

**クラブハウス（器具庫）の開錠**  
クラブハウスや器具庫用の鍵は保健室（緊急対応用の部屋）にある。鍵を生徒に渡し開錠しても良いが、使用後すぐに指導者が保

#### 指導者マニュアル 施設開錠について

負担額の設定が重要と考えられる。施設の鍵に関しては、鍵を準備する負担はあるが、指導員の入れ替わりが現状は多いため、スマートキーによる管理よりは鍵を準備する方が安全管理上適切と考える。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和5年度の10月からスタートした春日井市の地域クラブ活動は、1年半経過した。大きな混乱もなく進めてこれたことは、部活動に参加していた生徒の休日の活動の場が維持されたことが要因としてあげられる。その反面、部活動と地域クラブ活動との違いを感じられず、自由度が高く参加できるにもかかわらず、部活動と同じ活動を選択する生徒がほとんどであることも事実である。活動内容についても、指導者がまだ部活動の枠から離れることができず、楽しさに重点を置いた活動よりも部活動の延長の指導となっている活動も多くある。生徒・保護者への周知だけではなく、指導者への理解を深める研修の充実を行う必要がある。また、課題は山積しているものの、地域クラブ活動の運営に係る多大な業務を処理することに力点が置かれてしまう。

生徒や保護者のアンケート結果をみると、地域クラブ活動への期待の大きさを感じる。将来にわたって生徒の活動の場を維持するために、実証内容の取組をより発展させ、段階的に計画に取り入れていく必要がある。

#### ●成果の評価

多くの人材を管理して、地域クラブ活動を運営できたことは一定の評価を得ることができ。その大きな要因として総括コーディネーターの任用が挙げられる。総括コーディネーターが全指導員の配置を行い、活動報告や視察を通じて運営状態を把握することで円滑に地域移行（展開）を進めることができた。また文化系に特化したコーディネーターが配置されることで、練習形態や吹奏楽では指揮者の選定など細かな課題解決に取り組むことができた。地域バンド（ジュニアウインドウエスト）を設立できたことで、めざす地域クラブ像に近づけたことも実証事業に取り組んだ大きな成果といえる。ただ、保護者負担の軽減や生徒・保護者のニーズに沿った活動の充実などは、十分に組み合わせたとはいえない。現在教育委員会による運営となっているが、実証事業により見えてきた受益者負担の進め方や指導者の管理をどのように行うかといった課題を整理し、持続可能な運営主体を明確にしていきたい。

#### ●今後に向けて

アンケートにもあるように、保護者の懸念材料として活動費の負担は大きな割合を占める。なるべく負担をおさえることができるように、適正な負担額を検討していきたい。また、現在いる兼職兼業の教員による指導者も、将来的にはほとんどが参加が見込めない。近い将来、指導者がいないことで活動の場がなくなることを防ぐためにも、人材の確保とともに、クラブの合同化を進めていくことが必須となってくる。令和7年度はさらに地域バンドを一つ立ち上げる予定である。実証で取り組んだジュニアウインドウエストを参考に、クラブの合同化の指標となるようにしたい。そして、現在は自校にない活動のみ学校枠を越えて参加できるが、子供たちがニーズに合ったクラブを選択し、自由に参加できる地域クラブ運営を行っていく。

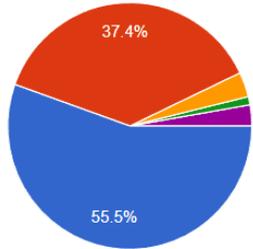
## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果 任意

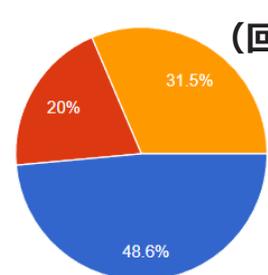
##### 生徒（回答 5478件）

Q.地域クラブ活動に楽しく参加できましたか？  
(地域クラブ参加者回答 3696件)



1 とても楽しく参加できた	55.5%
2 楽しく参加できた	37.4%
3 あまり楽しくなかった	3.2%
4 楽しくなかった	1.1%
5 どちらともいえない	2.8%

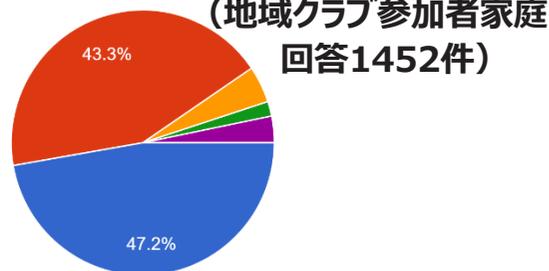
Q.休日の地域クラブ活動には参加したいですか？



1 ぜひ参加したい	48.6%
2 参加したい種目があれば参加したい	20.0%
3 休日は地域クラブ活動に参加せずに自分の活動（時間）にあてたい	31.5%

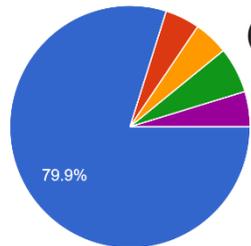
##### 保護者（回答 2108件）

Q.お子様の様子から、お子様は地域クラブ活動に楽しく参加できましたか？



1 とても楽しく参加できた	47.2%
2 楽しく参加できた	43.3%
3 あまり楽しくなかった	4.5%
4 楽しくなかった	1.8%
5 どちらともいえない	3.2%

Q.今後、休日の地域クラブ活動には参加させたいですか？



1 子どもが望めば参加させたい	79.9%
2 子どもが参加したい種目があれば参加させたい	4.6%
3 参加したい活動が子どもが通う中学校にあれば参加させたい	4.6%
4 どちらともいえない	6.1%
5 休日は地域クラブ活動に参加せずに別の時間を過ごさせたい	4.7%

#### ●生徒・保護者の声

##### 中学1年生（地域クラブ未参加者）

少し運動をする程度というぐらいの地域クラブに入ってみたいと思う。

##### 中学1年生（地域クラブ活動参加者 卓球）

指導者に教えてもらえて、とてもよかった。今後も地域クラブに参加して楽しみたいです。

##### 中学3年生（地域クラブ活動参加者 吹奏楽）

吹部のみんながやるならぜひ！！部活動の仲間と違う仲間とやれてよい経験ができた。

##### 保護者（中学校2年生 地域クラブ活動参加）

教員の負担を減らすため、休日の部活を中止するのではなく、地域クラブ活動という選択をした中学校および市に感謝します。

##### 保護者（中学校1年生 地域クラブ活動未参加）

先生方の負担を減らすためにも外部講師を積極的に受け入れてほしいです。専門的な指導が受けられるならある程度の費用負担は必要だと思います。

##### 保護者（中学校2年生 地域クラブ活動参加）

部活動の大会等が土日にあることが多いため、結局平日と土日の部活動を切り離すことができていない。その辺を整備してもらえないと土日の地域クラブなど絵空事と感じる。

# 2.実証内容と成果③

## 広報資料

春日井市地域クラブ活動の取組は市の広報でも取り上げられた。その他NHKや東海テレビの取材もあった。生徒保護者へは、募集時など適宜動画を作成し、説明を行っている。また、年度ごとに参加意向のアンケートを行っている。

### 令和7年度 地域クラブ活動について

「新生入・保護者用」

令和7年2月作成

春日井市教育委員会学校教育課



### 【新生入用説明動画】

- バスケットボール女子 (西部中学校、知多中学校)
- バレーボール男子 (西部中学校)
- バレーボール女子
- 吹奏楽 (知多中学校と合同で行います)
- ソフトテニス女子
- ソフトテニス男子
- バドミントン (中部中学校)
- 陸上
- 水泳 (東部中学校)
- ダンス (大手小学校中心)

### 【生徒用参加意向アンケート画面】

**学校部活動と地域クラブ活動の違い**

運営主体	対象	指導者	活動場所	運営費
学校部活動	学校	その学校の先生	在籍している学校	授業料、保護者会費 (4月募集への徴収は無し)
地域クラブ活動	地域	中学生は誰でも参加可能	学校や地域の施設など	参加費 (中学生への徴収は無し)

**活動への参加も多様に**

学校部活動と地域クラブ活動の両方に参加することも可能です。

名前	平日 (学校部活動)	休日 (地域クラブ活動)
Aさん	サッカー部	サッカークラブ
Bさん	合唱部	吹奏楽クラブ
Cさん	美術部	参加しない
Dさん	参加しない	テニスクラブ
Eさん	参加しない	参加しない

**地域クラブ活動のQ&A**

Q1 地元の正体は？と聞かれましたか？  
A1 自分で調べた学校がその、広域や各団体の名前が異なります。町や市のホームページなどで確認してください。

Q2 活動がよければどのくらい行く？  
A2 学年や学年ごと、自習室や公民館、交通機関などを活用します。

Q3 人数やメンバーは、自由ですか？  
A3 大会やコンクールの主催者は、地域クラブのメンバーである必要があります。

**インタビュー**

吹奏楽部「春日井ジュニアバンドウエス」  
春日井市立春日井中学校吹奏楽部部長 三浦 美穂 さん

「地域クラブ活動は、吹奏楽部員だけでなく、地域の子供たちも参加できるのが大きな魅力です。吹奏楽部員は、学校で練習していますが、地域クラブ活動では、地域の施設で練習し、地域の子供たちと一緒に演奏しています。吹奏楽部員は、地域の子供たちと一緒に演奏することで、地域の子供たちと交流することができます。吹奏楽部員は、地域の子供たちと一緒に演奏することで、地域の子供たちと交流することができます。」

**インタビュー**

ダンスクラブ  
大手小学校に在籍するダンスクラブの生徒さん

「ダンスクラブは、地域の施設で練習しています。ダンスクラブは、地域の施設で練習しています。ダンスクラブは、地域の施設で練習しています。ダンスクラブは、地域の施設で練習しています。」

### 【広報春日井による「地域クラブ活動」の紹介

出典:広報春日井 令和6年12月号

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【藤山台中学校と小学校との合同演奏の様子】



【ジュニアウインドウエスト 地域のお祭りでの演奏】



【ジュニアウインドウエスト 練習の様子】



【演劇クラブ 講師による合同練習の様子】

## 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年度～

令和3・4年度地域運動部活動推進事業参加

部活動検討委員会設置

令和4年度

教職員アンケートの実施

令和5年度

校長会等関係機関との調整

令和6年度

地域クラブ活動の拡大（学校枠を越えて参加）

### 【推進事業について】

- 春日井市教育委員会
- 休日の地域スポーツ活動の実施を見据えた取組として、休日において、教員が指導にあたらぬ部活動に、複数の部活動指導員を配置し、複数の休日部活動指導員の活動において実践研究をした。

### ●課題

- ・施設管理について
- ・緊急対応について

### ●実施内容、工夫した点 等

休日に部活動を単独で行えるように休日部活動指導員を設定し、会議日など指導員単独で指導にあたることができ、負担軽減をはかることができた。

⇒研究内容を市内へ周知

### 【アンケートについて】

#### ●春日井市教育委員会実施

#### ●対象：春日井市全教員

#### ●令和4年度 意識調査

令和5年度 地域クラブ活動参加希望調査

#### ●実施内容、工夫した点 等

令和4年度 休日の活動に携わってもよい 301人

令和5年度 休日の活動に携わってもよい 368人



令和4年度  
アンケート結果

令和5年度  
アンケート結果

### 【地域クラブ活動スタート】

#### ●春日井市教育委員会主体

#### ●5年間の移行期間を設ける

・部活動検討会議では受益者負担を求める  
⇒急な受益者負担では理解が得られないと  
考え、時限的に予算を確保

移行期間中に受益者負担の制度、受け皿の確保をめざす

校長会やスポーツ協会などに説明

・令和6年度は学校枠を越えた参加を認めていく。

#### ●実施内容、工夫した点、課題 等

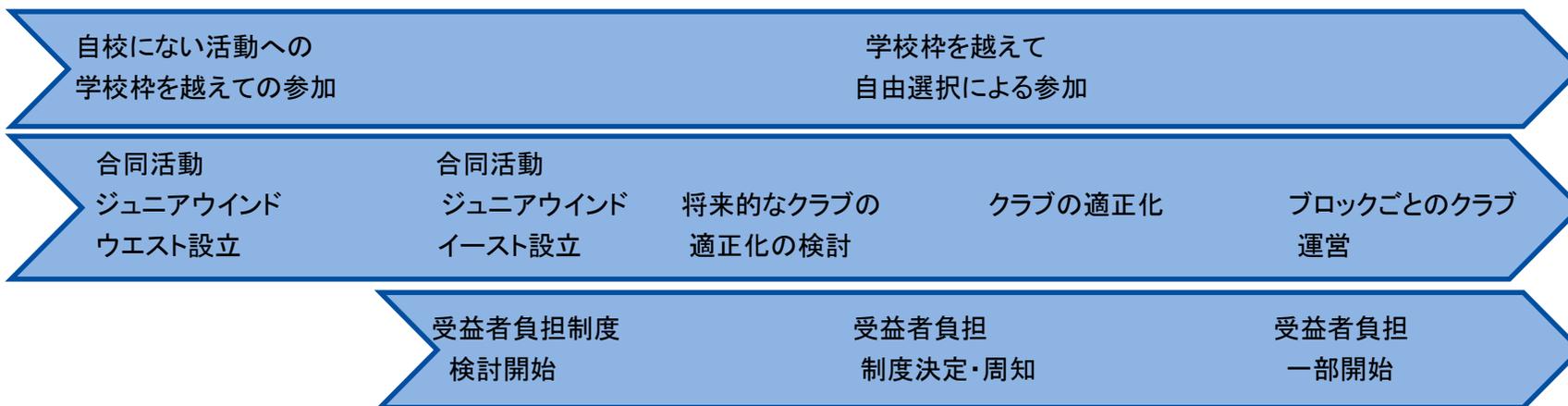
動画の視聴を複数回行うことで、地域クラブ活動の移行をスムーズに行うことができた。今後周知の方法及び競技団体との連携を強化し、春日井市独自の地域クラブ活動への理解を深める必要がある。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年度10月      令和6年度                      令和7年度                      令和8年度                      令和9年度                      令和10年度10月

### 地域クラブ活動 スタート



### 春日井市「地域クラブ活動」ロードマップ

